

## 研究課題名 Dynamic 造影乳房 MRI 検査における圧縮センシングの再構成反復回数の最適化に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2019年4月15日～2019年5月31日に当院で乳腺MRI検査を受けられた方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

目的：当院MRI装置にwork in progress技術として圧縮センシングが導入された。

この技術は超高速撮像技術であり、データサンプリングが極端に少なくても再構成を繰り返し行い、ノイズを除去する事で画像を再現させる技術であり、MRIにおける撮像時間短縮への貢献が非常に期待されている新しい技術である。しかし、現在は製品化の前の段階であり、その再構成の回数と再構成時間、再構成後の画質に関する検討はまだ少ないため該当撮像シーケンスの最適化が必要である。今回圧縮センシングを用いた乳房Dynamic-MRI検査における再構成回数の最適化を行う事を目的とする。

方法：2019年4月15日から5月31日までに検査が行われた画像合計10例を対象に連結不可能匿名化された元画像を装置上で処理解析を行い、再構成回数と画像のコントラスト、再構成時間との関係性を評価する。

期間：2019年4月15日～2022年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

乳腺MRI検査時に得た圧縮センシング技術併用Dynamic造影画像等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門 加藤 裕

-----以上